

# 支笏洞爺 国立公園



## 連絡先一覧

北海道地方環境事務所  
〒060-0808 北海道札幌市北区北8条西2丁目  
札幌第1合同庁舎3F  
| TEL | 011-299-1950 | FAX | 011-736-1234  
| URL | <http://hokkaido.env.go.jp/>

支笏洞爺国立公園管理事務所  
〒066-0281 北海道千歳市支笏湖温泉  
| TEL | 0123-25-2350 | FAX | 0123-25-2351

洞爺湖管理官事務所  
〒049-5721 北海道虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉142-5  
洞爺湖ビジターセンター2F  
| TEL | 0142-73-2600 | FAX | 0142-73-2601

支笏洞爺国立公園サイト  
<http://www.env.go.jp/park/shikotsu/index.html>



樽前山・恵庭岳  
[http://www.jma.go.jp/jp/volcano/map\\_1.html](http://www.jma.go.jp/jp/volcano/map_1.html)



有珠山・羊蹄山・倶多楽  
<http://www.bousai-hokkaido.jp/BousaiPublic/html/iburi/kazan.html>

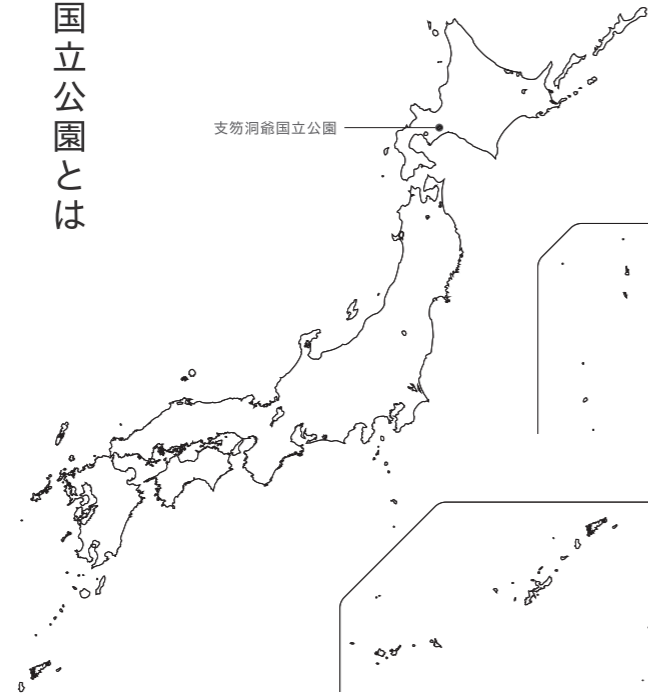


発行者：環境省  
発行年：2018年



※ 見どころ案内マップは、指定区域の概要を示すために作成したものであり、誤差があることを考慮した上でご利用ください。

## 国立公園とは



国立公園は、日本を代表する自然の風景地として、自然公園法に基づいて国が指定するものです。北は北海道から南は沖縄、小笠原諸島まで34の国立公園が指定されており、年間3億人以上が利用しています。国立公園内は、自然の絶景だけではなく、野生の動植物、歴史文化などの魅力の宝庫です。日本の国立公園は、森林、農地、集落など多様な環境が含まれていることが特長です。ほとんど手つかずの自然が残されているところがある一方で、自然と人の暮らしが織りなす地域の歴史や文化にふれることができます。是非、実際に国立公園を訪れ、四季折々に変化する日本の美しい自然を満喫してください。

## 地形 地質 景観



本公園は、我が国を代表するカルデラ湖である支笏湖と洞爺湖を中心に、今なお活動を続けている有珠山や成層火山の羊蹄山など多くの火山によって構成されています。また、噴泉、地獄谷などの火山現象地や、倶多楽湖、橘湖などの火山性湖沼が散在しており、我が国を代表する火山群の景観を呈しています。平成21年には、世界的に貴重な地質遺産として、洞爺湖有珠山ジオパークが日本で初めて「世界ジオパーク」に認定されています。

### | 支笏湖エリア

約3万2千年前に始まった支笏火山の活動によりカルデラが形成され、その後、風不死岳、恵庭岳、樽前山が形成され、現在の支笏湖ができて上がりました。風不死岳は既に火山活動を終えています。恵庭岳は山頂下の火口に小規模な噴気が認められ、樽前山は現在も活動が続いています。支笏湖は、最大水深360m、日本で2番目に深い湖です。寒冷な気候に加え土砂の流入などが少ないため、我が国を有数の透明度を誇っています。

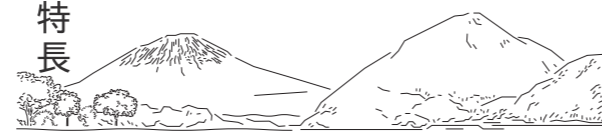


支笏湖と恵庭岳



樽前山

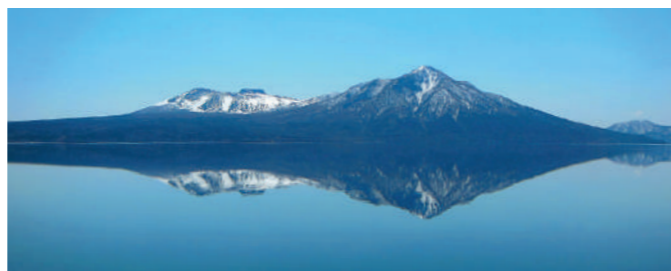
## 特長



### 生きている火山と静まる蒼い湖 — 火山活動の博物館 —

支笏洞爺国立公園は北海道の南西部に位置し、支笏湖、洞爺湖の二大カルデラ湖に加え、羊蹄山、有珠山、樽前山など様々な形式の火山や火山地形を見ることが出来ます。また多種多様な温泉や硫気の吹き出す地獄現象などの火山活動が多く見られ、まさに『生きた火山の博物館』といえる公園です。火山活動の恩恵として、登別、洞爺湖、定山溪などの北海道を代表する温泉観光地が賑わいを見せ、湖と森と火山の織りなす景観美が人の心を和ませてくれます。また、支笏湖は北限の不凍湖としても有名で、独特な濃紺の水面は訪れる人々を魅了しています。本公園は、札幌市中心部や新千歳空港からも近いため、多くの人が来訪しやすい立地にあります。マイカーや団体ツアーバスによる、火山現象などの自然探勝や温泉を利用した保養などの周遊観光のほか、登山や高山植物観察にも利用されています。

【指定年月日】昭和24年5月16日 【面積】99,473ha  
【関係都道府県】北海道



### | 定山溪エリア

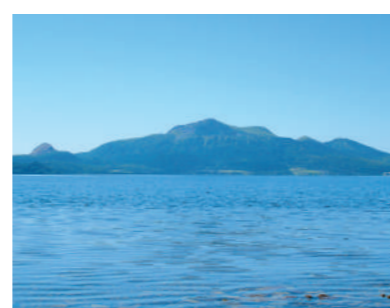
定山溪は、無意根山、空沼岳、札幌岳などの比較的古い火山による山岳地形です。これらの山には高山植物が生育し展望にも優れているため、札幌市方面からの格好の日帰り登山コースとなっています。定山溪温泉は豊平川の渓流沿いに位置する北海道有数の温泉地です。

### | 洞爺湖エリア

洞爺湖は、周囲約40kmのほぼ円形のカルデラ湖で、中央には火山活動でできた中島が浮かんでいます。湖の周囲は農地や集落が広がり開放的な景観を形成しています。有珠山は、約2万年前に活動を開始した火山で、周囲に多数の側火山を持ち、特に昭和18～20年にかけての活動で生成した昭和山は、溶岩円頂丘と言われ学術的、景観的にも非常に価値が高いものです。また、明治43年の噴火で湖畔から温泉が湧出し洞爺湖温泉が誕生しました。



定山溪

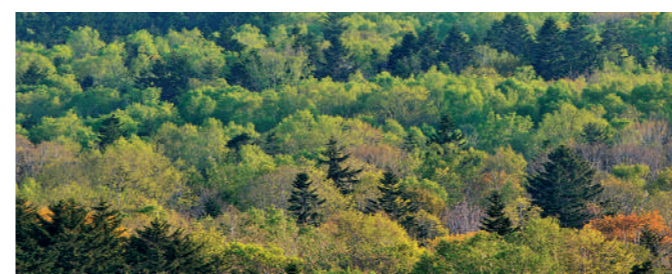


洞爺湖と有珠山

## 植物 動物 生態系



本公園は、ミズナラ、エゾイタヤなどからなる落葉広葉樹林やエゾマツ、ダケカンパなどの針広混交林に広く覆われており、標高1,000mを超える山頂部や稜線部にはハイマツ帯も見られるほか、高山植物のお花畑が随所に発達しています。羊蹄山では、山麓の広葉樹林から中腹の針葉樹林、さらにキバナシャクナゲやエゾノツガザクラなどの高山植物が咲く山頂まで、典型的な植物の垂直分布を見ることが出来ます。樽前山は、新しい火山のため森林は標高700m付近までしかなく、上部はイソツツジ、ミヤマハンノキ、イワブクロ、コメバツガザクラなど高山性の植物群落が生育し、特異な景観を呈しています。オコタンベ湖周辺などでは、小面積ながら湿原植物の生育が確認されています。



針広混交林



イワブクロ



エゾエンゴサク



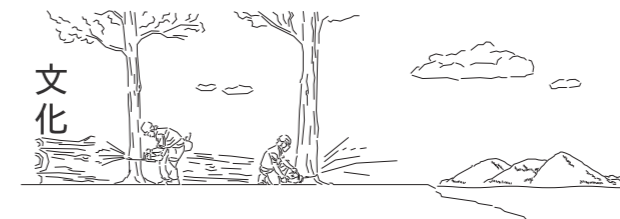
エゾシカ



クマガウラ



シマリス



## 文化

### — 洞爺湖畔開発の歴史 —

本公園の周辺は、昔からアイヌ民族の生活の場でした。この一帯の観光事業に道が開けたのは、明治43年の有珠山噴火の後に温泉の湧出が発見され、大正末期に函館と札幌を結ぶ国鉄室蘭本線と千歳線が開通してからです。昭和初期にはホテルやゴルフ場が進出し、さらに昭和30～40年代にかけて、高度成長期の観光旅行ブームとともに、洞爺湖畔は観光地として発展してきました。

### — 支笏湖畔の森林と鉱山の開発 —

国立公園指定以前の支笏湖周辺は、鉱山開発などの産業活動が行われてきた歴史があります。苫小牧の製紙工場が、明治41年に苫小牧から支笏湖畔まで鉄道(山線)を敷設し、千歳川に発電所を建設し支笏湖周辺で森林の伐採を行いました。また、美笛金山などの鉱山が開発され、一部は公園指定後まで操業していました。現在は、公園内の鉱山はすべて廃止され、当時建設された鉄橋などは産業遺産として、公園の景観の一部となっています。



洞爺湖温泉街



山線鉄橋

## 取り組み

### — パークボランティア活動 —

パークボランティアは、地方環境事務所長が募集・登録を行い、自然観察会の解説活動、美化清掃、標識や歩道などの利用施設の簡単な維持管理、動植物の調査などの活動を行っています。

### — グリーンワーカー事業 —

本公園では、平成18年度から特定外来生物に指定されているウチダザリガニの調査・防除活動を実施しており、生息分布調査やダイバーとカニガゴによる駆除などの事業を行っています。その他、オオハンゴンソウの防除や清掃活動、登山道の維持管理などの事業も実施しています。



パークボランティア

ウチダザリガニの駆除活動

## 国立公園の利用上のマナー

多くの方に楽しく利用していただくために、国立公園内では自然を大切にすることを心がけ、次のことを守ってください。

- ゴミを捨ててください
- 花や植物を採らないでください
- 野生動物に餌を与えないでください
- 熱帯魚やサンゴなどの動物を獲らないでください
- 歩行中禁煙
- たき火は指定の場所で行いましょう
- ・歩道や木道から外れないでください。  
・ペットを野に捨てないでください。

01 羊蹄山

A3



美しい山体の独立峰です。登るにつれて植物帯の垂直分布の変化を楽しむことができ、頂上付近では多くの種類の高山植物が迎えてくれます。標高が高い山なので、しっかりした装備と心構えて登山に向かいましょう。

02 03 金比羅火口・西山山麓火口

A6



平成12年の有珠山噴火でできた火口で、周辺には散策路(フットパス)が整備され、噴火口や被災した道路・民家などを見学できます。

04 有珠山

B6



周期的に噴火を続ける火山です。ロープウェイで上がることができる山頂駅から火口原展望台や南外輪ルートを歩けば、過去の噴火跡と植物の回復の状況を見ることができます。

05 中島

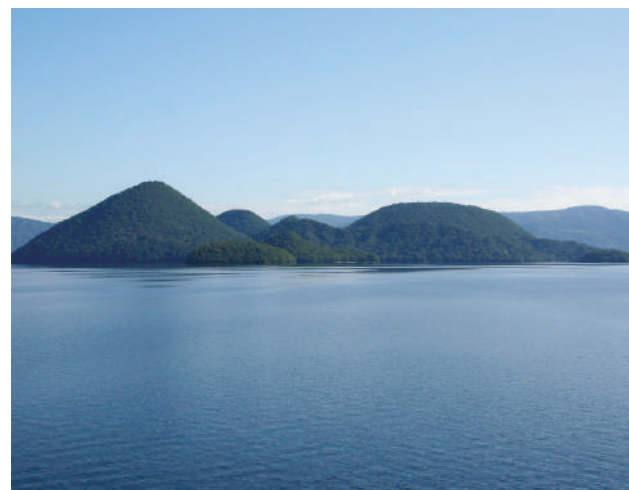
B6



洞爺湖の中央にある中島は、約5万年前の火山活動で生まれました。密集した溶岩ドームからできており、一番大きな大島は遊覧船の発着場や森林博物館などの施設があります。

06 洞爺湖

B5



約11万年前の巨大な噴火により生まれた直径8~11kmのカルデラ湖です。噴火の際にできた周辺の広い台地上には、農地が広がり、カルデラ内には、集落や温泉が点在しています。

07 オロフレ山

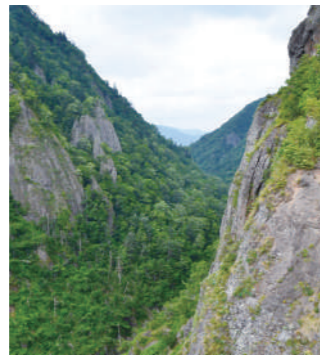
D6



洞爺湖と登別温泉の中間にあるオロフレ山からは、羊蹄山や噴火湾などが一望できます。登山道からはイワヒゲやチングルマ、ミヤマオガマキなどの高山植物が見られます。

08 豊平峡

D2



豊平峡は、岩壁と森林で構成される雄大な自然が楽しめる渓谷です。特に紅葉の季節には、札幌方面から多くの観光客が訪れます。

09 地獄谷

D7



登別温泉の北東に位置する長径約450mの爆裂火口跡で登別温泉の源泉となっています。激しく噴出する火山ガスや熱湯は、周囲の遊歩道から見るすることができます。

10 倶多楽湖

D7



直径約2.5kmの円形の流入・流出河川がないカルデラ湖で、非常に良好な水質が保たれ、透明度が高い神秘的な湖を見ることが出来ます。

11 支笏湖

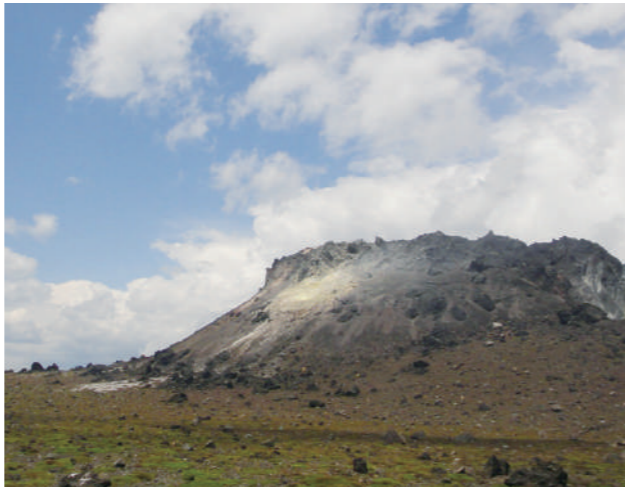
F4



澄みきった水の色と、湖を囲む恵庭岳などの山々が一体となり、優れた湖水景観に魅了されます。また、湖上では遊覧船やカヌーなどを楽しむこともできます。

12 樽前山

F5



外輪山の内側に溶岩ドームを持ち、現在も噴煙を上げている火山です。イワフクロ、イソツツジ、シラタマノキなどの高山植物が見られます。

Information 施設案内

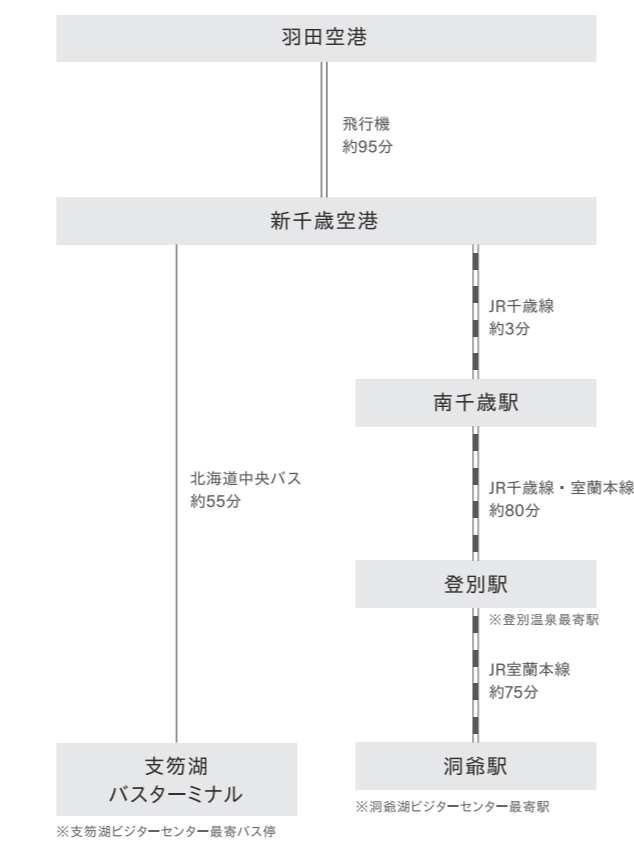
**支笏湖ビジターセンター** F4  
 〒066-0281  
 北海道千歳市支笏湖温泉  
 [TEL] 0123-25-2404  
 [URL] <http://shikotsukovc.sakura.ne.jp/>  
 [開館時間] 9:00-17:30  
 9:30-16:30(冬季)  
 [休館日] 冬季の毎週火曜日、年末年始

**洞爺湖ビジターセンター** A6  
 〒049-5721  
 北海道虻田郡洞爺湖町洞爺湖温泉142-5  
 [TEL] 0142-75-2555  
 [URL] <http://www.toyako-vc.jp/>  
 [開館時間] 9:00-17:00  
 [休館日] 1月1日及び12月31日

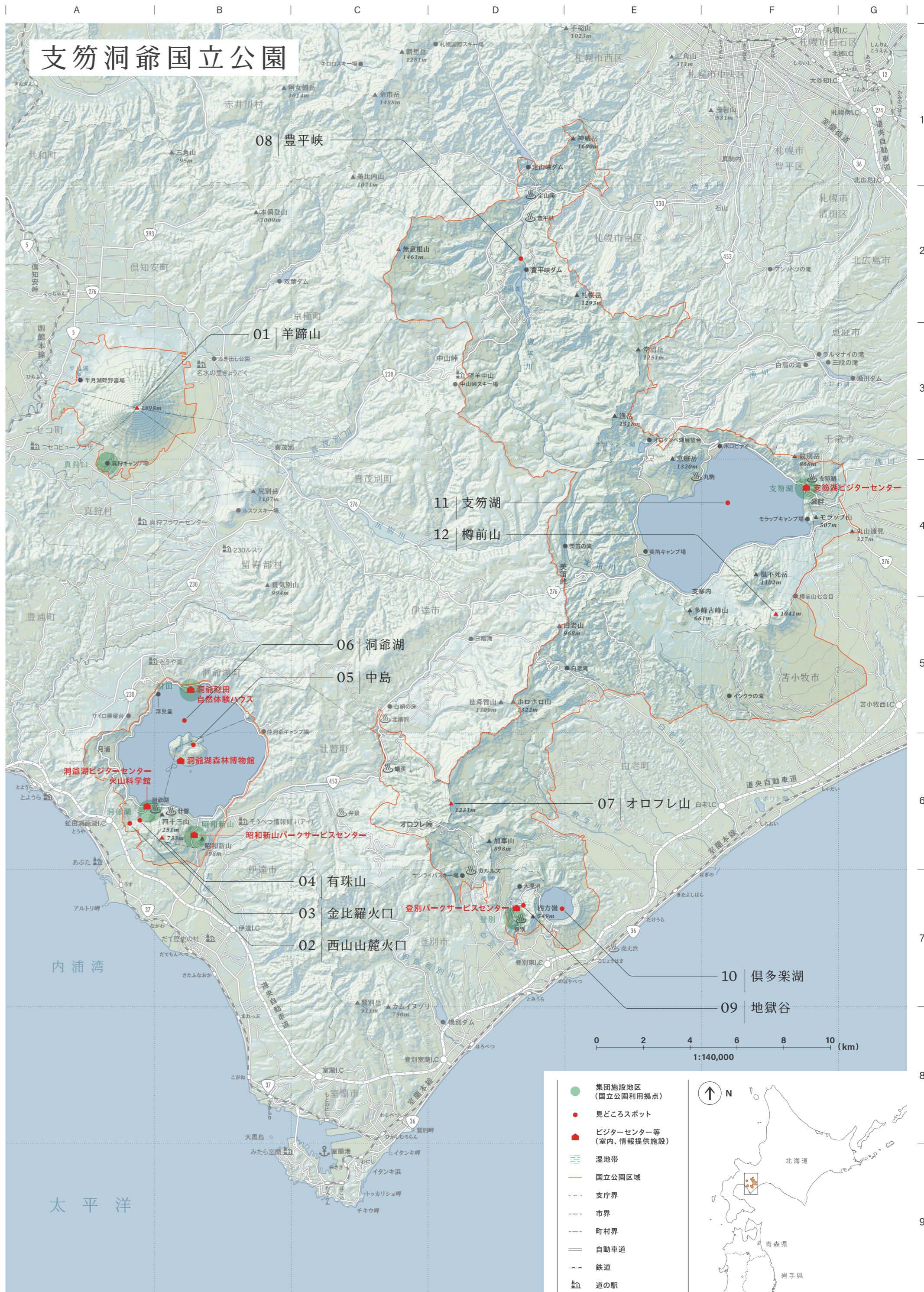
**洞爺湖財田自然体験ハウス** B5  
 〒049-5813  
 北海道虻田郡洞爺湖町財田2-2  
 [TEL] 0142-82-5999  
 [URL] <http://toyako-vc.jp/takarada/>  
 [開館時間] 9:00-17:00  
 [休館日] 毎週月曜日、年末年始

※開館時間などについて詳しくは各施設にお問い合わせください。

Access 交通アクセス



※アクセスルートは一例です。各区間の所要時間は目安です。詳しくは各交通機関の窓口・ホームページなどでご確認ください。



※詳細な区域確認等に当たっては、担当の環境省自然保護官事務所等にお問い合わせください。